

日本地球化学会
市民講演会

海洋の未来を 拓くために

持続可能な海洋資源の利用・開発と
気候変動の影響

プログラム

- ① 研究者による話題提供
テーマ1:過去及び現在の気候と海
テーマ2:二酸化炭素分離回収・貯留技術(CCS)の現状と課題
テーマ3:洋上風力発電適地選定のための風を宇宙から理解する
- ② 高校生による研究発表
- ③ パネルディスカッション
「持続可能な社会の実現のために地球化学に何が期待されているか」



▲詳細はこちら

本講演会は地球環境の現在・過去・未来についての最先端の解釈を正しく理解してもらい、未来に向けた「持続可能な海洋の利活用」について意見交換することを目的としています。

海洋環境・再生可能エネルギー・環境工学で世界をリードする研究者らによる話題提供から始まり、高校生による研究発表、最後に講演者らによるパネルディスカッションを行い、今後の海洋利用による持続可能な社会実現のために地球化学が果たす役割について会場の参加者とともに考えていきます。

2023 東京海洋大学
9/24(日) 品川キャンパス
10:00-16:30 講義棟大講義室
開場 9:30 (予定) 東京都港区港南4-5-7

主催
一般社団法人日本地球化学会

後援
東京海洋大学

問合せ
日本地球化学会 第70回年会実行委員会
E-mail: 2023LOC@geochem.jp
委員長: 下島 公紀



プログラム

10:00 Opening remarks

10:05 第一部《研究者による話題提供》

テーマ1: 過去及び現在の気候と海

◆ 植松 光夫 (埼玉県環境科学国際センター 総長)

大気海洋間の物質循環研究に従事しており、日本海洋学会会長、文部科学省日本ユネスコ国内委員会委員などを歴任。地球温暖化が海洋にどのような変化を与え、また海洋が地球環境へどのような影響を与えるのか。地球上で物質が循環しているということを通して地球システムを俯瞰し、その対応、そしてその目指す将来を紹介する。

◆ 東 博紀 (国立環境研究所 主幹研究員)

水環境に関わる気候変動の研究に従事し、環境省有明海・八代海等総合調査評価委員などを歴任。我が国の内湾・沿岸域の水質は改善傾向が見られ、富栄養化問題から脱却しつつある。しかし、生態系が豊かな海の再生ははまだ実感できず、生物生産性の低迷が続いている。これは気候変動の影響なのだろうか?数値シミュレーションの予測で得られた知見を紹介する。

11:20

テーマ2: 二酸化炭素分離回収・貯留技術(CCS)の現状と課題(環境工学)

◆ 佐藤 徹 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授)

二酸化炭素分離回収・貯留技術(CCS: Carbon dioxide Capture and Storage)に係るCO₂海底下地中貯留の環境影響評価等の研究に従事しており、内閣府総合海洋政策本部参与、環境省海底下CCS検討会委員などを歴任。CCSは、火力発電所など大規模排出源からCO₂を回収し、海底下地中深くに封じ込める技術である。CCSの現状と課題を確認しつつ、CO₂漏洩の環境影響を評価するための様々な数値シミュレーション法について解説する。

12:00 昼休み

13:00

テーマ3: 洋上風力発電適地選定のための風を宇宙から理解する

◆ 竹山 優子 (東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 准教授)

人工衛星や数風力発電において、最も重要な工程は風況把握である。人工衛星による洋上の風観測について解説するとともに、今後の洋上風力発電の展望についても紹介する。

13:40

13:50 第二部《高校生による研究発表》

茨城県立緑岡高等学校 / 創価高等学校 / 東京都立科学技術高等学校

15:10

15:30 第三部《パネルディスカッション》

◆ 持続可能な社会の実現のためには、海洋学、環境学、工学など、さまざまな分野の研究者の協力が必要です。それらを有機的に結合させる「地球化学」に何が期待されているのか、パネリストと会場の参加者の皆様との意見交換を行います。

【パネリスト】

植松 光夫 (埼玉県環境科学国際センター 総長)

東 博紀 (国立環境研究所 主幹研究員)

竹山 優子 (東京海洋大学 准教授)

佐藤 徹 (東京大学 教授)

下島 公紀 (東京海洋大学 教授)

各高校の代表者 1名ずつ

16:10 Closing remarks

問合せ: 日本地球化学会 第70回年会実行委員会
委員長 下島公紀 (mail:2023LOC@geochem.jp)
後援: 東京海洋大学

日本地球化学会
市民講演会

海洋の未来を 拓くために

持続可能な海洋資源の利用・開発と
気候変動の影響

日時

2023/9/24(日)

10:00 ~ 16:30

開場 9:30 (予定)

会場

東京海洋大学
品川キャンパス

講義棟大講義室

東京都港区港南4-5-7

